



**AUTOSLIDE®**  
**オートスライド**

オーストラリア生まれの自動ドアキット

# 取扱説明書



# オートスライドの保証について

保証修理をお受けになる場合は、購入時期の証明となる資料をご確認のうえ、お買い上げ先、販売店へご連絡ください。

尚、本保証規定は、予告なく内容を変更させていただく場合があります。

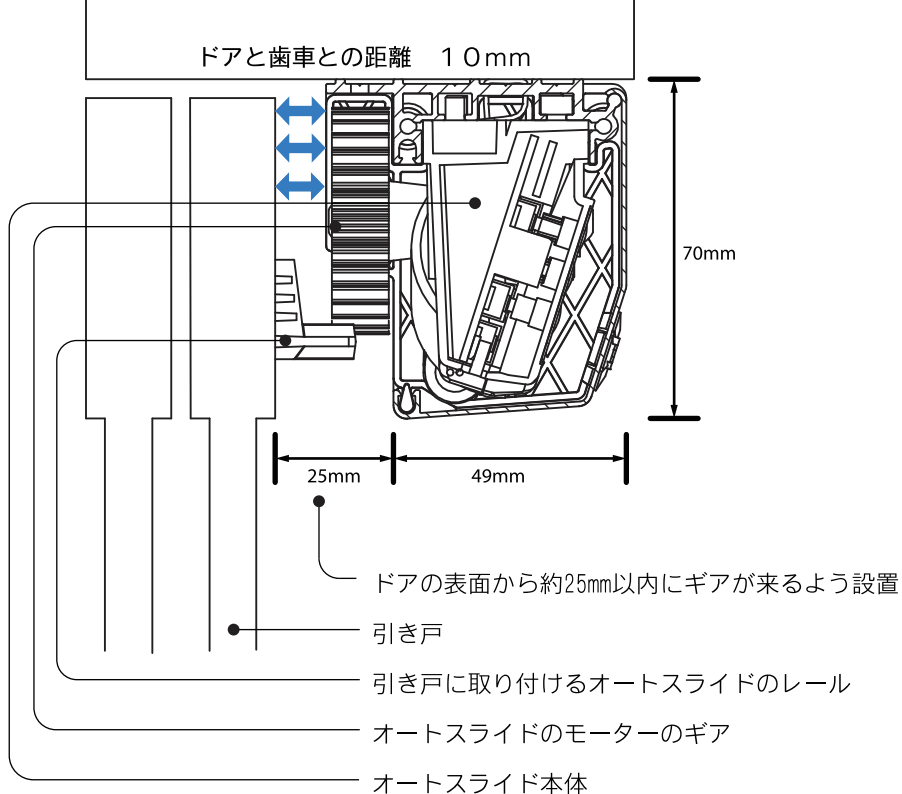
1	保証期間 オートスライド及びその付属品、オプションの保証期間は、お買い上げ後1年間です。
2	保証範囲 (1) 上記保証期間中にオートスライドの製造責任による故障が発生した場合にのみ、製品の故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。ただし、ご使用される地域によっては修理対応に時間を要す場合がございます。買い上げ先、販売店に別途ご相談ください。 (2) 取扱説明書の故障診断に沿った確認は、原則としてお客様にて実施をお願いいたします。基本的には訪問での故障診断は行いません。該当する製品を鳥は筋、弊社に送付して頂くことで確認させていただきます。また、その際の送料はオートスライドに瑕疵があった場合、無償とさせていただきます。 (3) 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)とさせていただきます。 ① 仕様書・取扱説明書等に記載されている以外の不適切な使用条件・環境・取扱い・使用方法・用途、およびお客様の不注意や過失等に起因する故障 ② 当社製品以外と組み合わせた取り付けしたことによる(お客様の装置やソフトウェア)の原因による故障 ③ 当社指定サービス業者以外による修理や改造に起因する故障 ④ 当社製品がお客様の装置に組み込まれて使用された場合、お客様の機器が受けている法的規制による安全装置、または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造等を備えていれば回避できたと認められる故障 ⑤ 火災等の不可抗力による外部要因、地震・雷・風水害等の天変地異による故障 ⑥ 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障 ⑦ お客様での不正な改造による故障 ⑧ お客様での施工ミスによる破損・故障 ⑨ 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障 (4) 個別契約等にて別途定めがある場合は、それを優先いたします。
3	保証責務の除外 保証期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地機械設備の再調整・試運転業務に対する補償については、保証責務外とさせていただきます。
4	用途限定 (1) 重要な設備に適用する際は、オートスライドが故障しても重大な事故や損失に至らないように、バックアップ機能を設備側に付けてください。また、その場合の損失、責任をオートスライドは一切負いません (2) 当社製品は、家庭用の汎用品として設計・製造されています。したがって、下記のような用途は保証適用外とさせていただきます。ただし、お客様の責任において製品仕様をご確認のうえ、必要な安全対策を講じていただく場合には適用可否について検討いたしますので、当社までご相談ください。 ① 原子力・航空・宇宙・鉄道・船舶・車両・医療機器・交通機器等、人命や財産に多大な影響が予想される用途 ② 電気・ガス・水道の供給システム等、高い信頼性や安全性が要求される用途

本製品のご使用者様は左記保証内容をご了承いただいたものとさせていただきます

対象製品	オートスライド本体・各種センサー
非対象製品	レール、本体カバーなどの非電気製品
保証期間	購入から1年
問い合わせ先	0277-51-4973（オートスライドジャパン）
製品仕様	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 駆動方式:ラック&amp;ピニオン方式</li><li>・ 適用ドア寸法:高さ 2100-2400mm x 幅 720 - 1500mm</li><li>・ 色:ブラック/ホワイト</li><li>・ 推奨最大ドア開閉幅:1500mm</li><li>・ 使用温度範囲0℃~45℃ 湿度85%以下。結露無き事</li><li>・ 防水機能 なし</li><li>・ 防塵機能・IP20</li><li>・ 最少ドア開閉幅:300mm(ペットモード時)</li><li>・ 電源入力:交流 100V ~ 50/60Hz</li><li>・ はさみ込時は反転する安全装置付き</li><li>・ 本体寸法:1000mm x 71mm x 64mm</li><li>・ 停電時手動動作可能</li><li>・ タッチセンサー:2個付属</li><li>・ リモコン:オプション</li><li>・ 赤外線センサー:オプション</li><li>・ 無線(ペット)センサー</li><li>・ ペット・マットセンサー</li></ul>

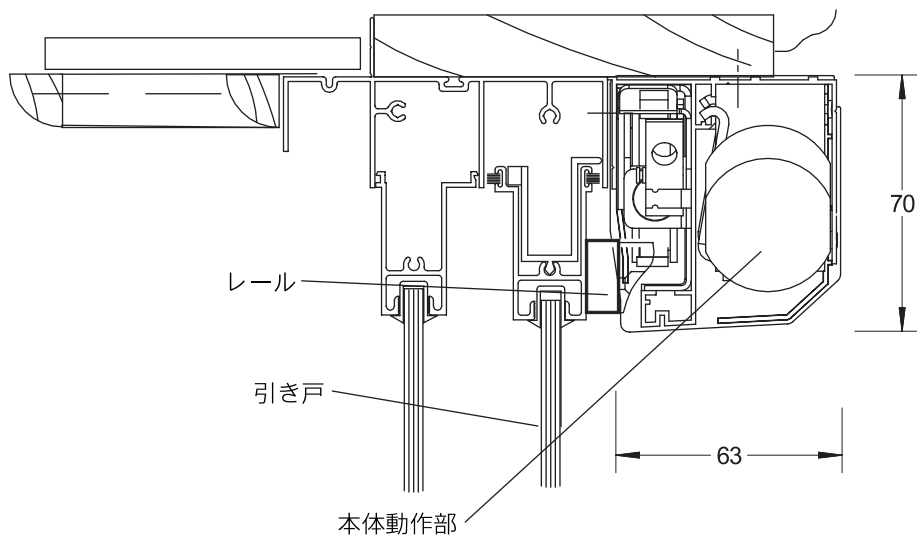
## 目次

オートスライドの保証について	2
オートスライドの外形図	4
オートスライド内容および設置に必要な道具	7
オートスライド取り付けガイド	9
ステップ1:施工準備	9
ステップ2:施工	17
ステップ3:設定(本体・タッチセンサー)	21
ステップ4:オプション	24
ポケットドア(戸袋式の引き戸)への設置	24
オートスライドユニットを左引きにする	25
トラブルシューティング	27



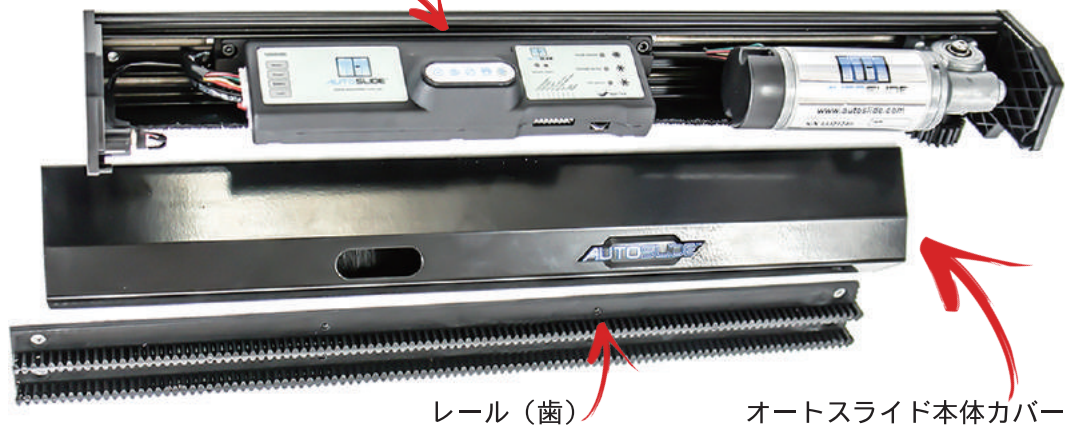
上枠にビス、またはボルトで固定します。

上枠がない場合や吊り戸はアングルを用いて固定します。



## オートスライド内容の確認および必要工具

オートスライド本体ユニット



レール (歯)

オートスライド本体カバー



タッチセンサー



レールのエンドキャップ  
(本体色と同色になります)

その他：AC電源アダプター (黒)

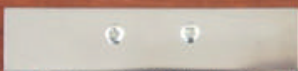
(ACアダプターの形状は予告なく変更されることがあります)

## 必要な工具

- ・電動ドライバー (インパクトドライバー)
- ・2番プラスドライバービット・下穴用3mmドリルビットドライバー
- ・糸ノコ (レールを切るため)
- ・12.0mmドリルビット (10mm径の有線センサーを本体反対側に設置するため)



六角レンチ




ラック補強金具  
(ラックの繋ぎ目を補強  
したいときに使います)




摩擦テスター



## オプションの設置調整金具

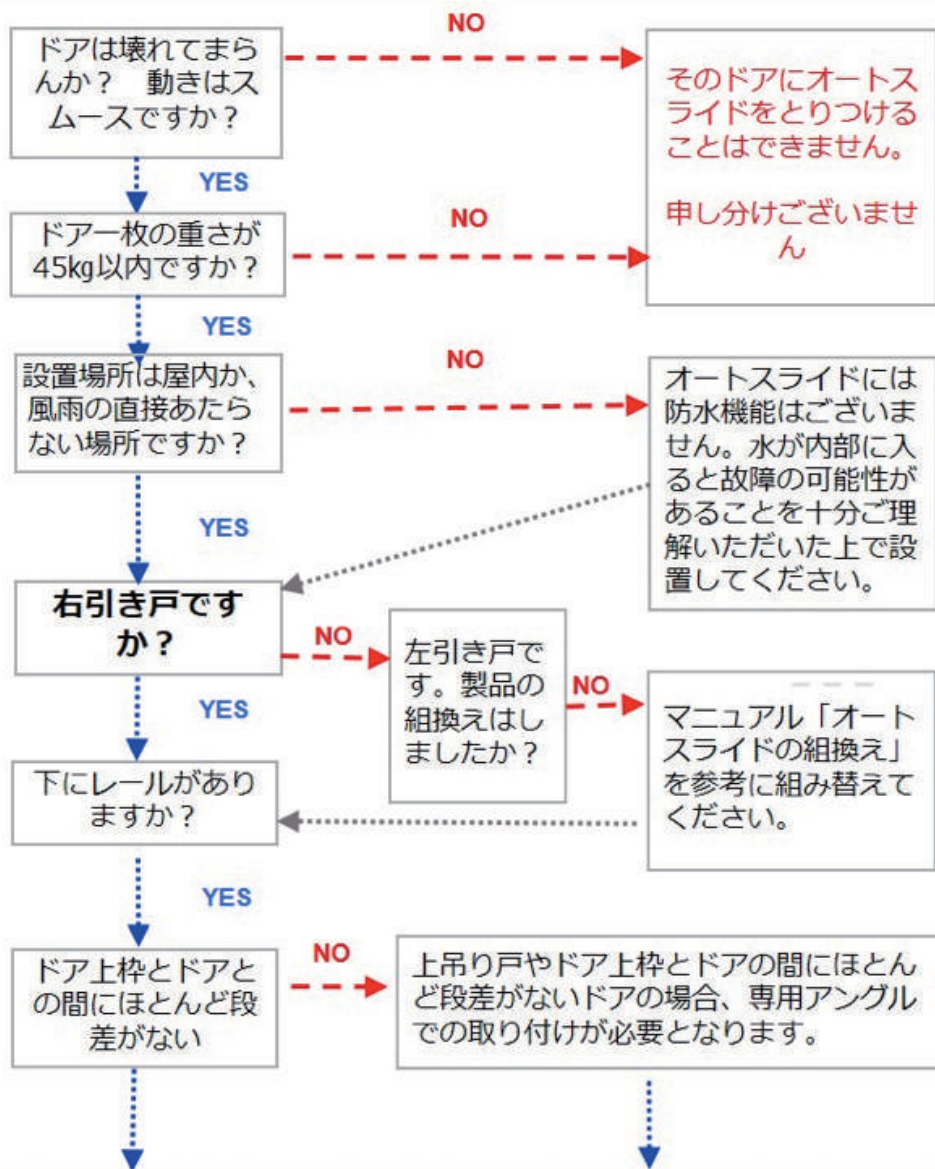


設置金具は、  
ネジ穴を調整  
できます。



設置金具は、  
ネジ穴を調整できます。

# オートスライド取り付け ガイド



オートスライドを取り付け

## ステップ1：施工準備 ドアの確認および取り付け位置の確認

### 1-1. 取り付けに問題のあるドア

オートスライドはほぼすべての引き戸に取り付けることが可能です。  
ただし、以下のドアに関しては取り付けが不可能か、動きが不安定になる恐れがあります。

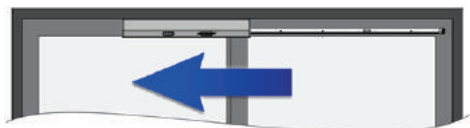
- ① ドアが壊れているか、ドアの重さが45kgを越えているもの  
添付のテスターで確認してください。マジックテープになっており、  
この製品で引ける限界荷重がかかると、テープがはがれる仕組みとなっています



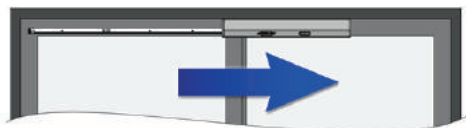
- ② 大型の上吊り戸で、ドアが大きく揺れるもの  
→ラック（レール）と歯車が外れやすいため
- ③ サッシ引き違い戸のうち、外側にあるドアを引く場合  
→ラック（レール）が干渉して駆動できません
- ④ 折れ戸、ビニールカーテン引き戸
- ⑤ ひさしがなく、雨や水が直接かかる環境。浴室内部などの高温多湿環境。  
→防水機能はございません。水がかかると回路がショートするおそれがございます。
- ⑥ 砂、粉塵などが常時かかる環境  
→歯車とラック（レール）が砂、粉塵で摩耗し、駆動不良が想定されます。

上記のドアにあたる場合は、施工をしない判断をするか、  
施工時に何らかの対処方法を十分にご検討ください。

### 1-2. ドア引き方向をチェック



左引き



右引き



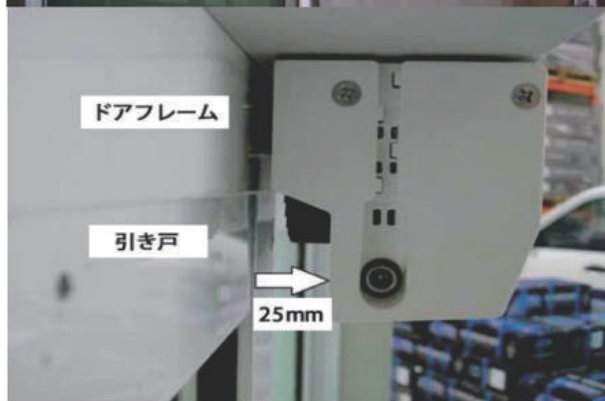


オートスライドのモーターは出荷時には左引きに対応する形となっています。

左引きの場合モーターが右、コントロールユニットが左です。

右引きに対応させる場合は製品の組み替えが必要です。

ドライバーと六角レンチを用いて、モーターの位置を変更します。詳しくはマニュアルの「オートスライドの組換え」頁をご参照ください。



### 1-3. 本体の準備

本体のカバーをはずし、取り付けの準備をします。

カバーは本体左右に皿ネジで固定されています。

一方のネジを外せば、スライドしてカバーをとりはずせます。



無理に力をいれて外さないでください。破損の原因になります

## ステップ2：施工

### 2-1. レールを組み合わせ、ドア幅にあわせて切断



エンドキャップの主な役割は装飾用途です。エンドキャップをとりつけることで、引ける幅が短くなります。

ドア幅いっぱいに引きたいときは、エンドキャップを取り付けしないでください。

ドアの端をマークして、レールを切り落とします。



オートスライドのレールは2本に分割されており、各50cmの100cmとなっております。レールを組み合わせることで最大で200cmまで延長可能です。

通常はドア両面にタッチスイッチを両面テープで取りつけますので、その位置を考慮し、ドアの開閉幅を決めてください。開閉幅は設置後に任意で決めることができます。

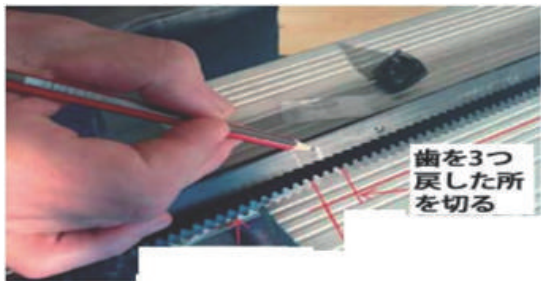


開閉幅は設置後に任意で決めることができます。ただし、切断したレール以上にはなりません

ドア開口幅いっぱい開閉させたい場合

ドアをしっかりと閉めた状態で、ドア端にあたる部分でレールに印をつけます。

そして、ドア端から数えて歯三つ手前の歯で切断します。

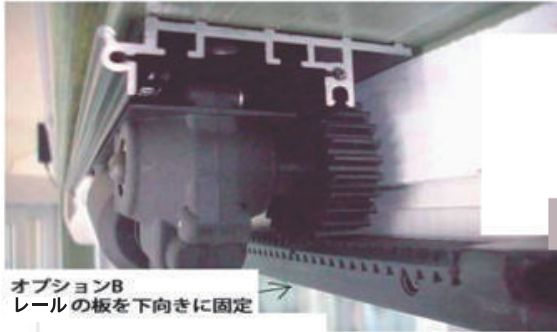


ドアをしっかりと閉めた状態で、ドア端にあたる部分でレールに印をつけます。そして、ドア端から数えて歯三つ手前の歯で切断します。

ドア開口幅いっぱいの開閉させたい場合エンドキャップは使用できません。

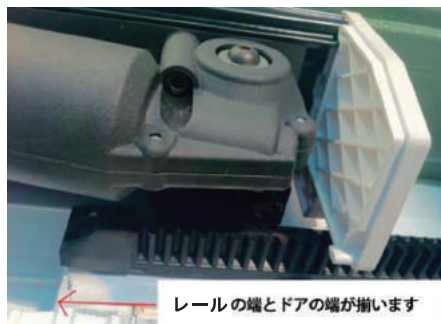
## 2-2. 本体とレールのドアへの取り付け準備

本体を仮おさし、レールの取り付け向きをきめてください。



レール上むきの場合、上枠から65mmの位置にラック下部がきます。レール下むきの場合52mmにレール下部がきます。サッシの上枠の幅にあわせてお選びください。

## 2-3. 本体の取り付け位置を正面から確認



### 重要ポイント!!

ドアを閉めた状態で必ず、モーターの歯車の下にレールがくることを確認してください。

深く、しっかり歯車とレールがはまっていることを確認してください。



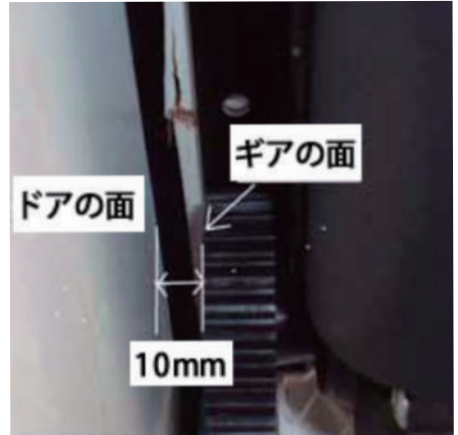
## 2-4. 取り付け



レールはドアと平行に取り付け



レールを取り付けるときに本体を傷つけないように注意してください



レールと本体を固定後、ドアを動かしたときに、多少重くて、動きが鈍いはずです。歯車が空転することなく回ることをご確認にください。

切断したレールの端にも必ずビスを留めてください。

切断面は穴があいておりません。穴加工後ビス止めをしてください。

レールの両端がもっとも力がかかる場所です。

ここがしっかり固定されていることがオートスライドのスムーズな駆動を実現するポイントです。

歯車の動きがスムーズでないとき

Q. 歯車が空転する。ドアを手でひくと軽く、レールと歯車がかみあっていない場合

A. レールと歯車ま隙間が大きすぎます。本本体と上枠との間にスペーサー（厚紙など）をはさみ、しっかりとレールに噛み込むようにしてください。

Q. レールと歯車が鈍い。動きが重くなりすぎ、ドアが動かない。

A. レールをわずかでも、現在の位置から下にとりつけるしかありません。ビスを一度とりはずし、上方斜めから打ち直すだけでも多少は下がります。

## 特殊なドアへの取り付け

### 1. 上枠に取り付けスペースがないドア、吊り戸の場合

製品本体をとりつけるための上枠がない場合、アングルを用いてとりつけします。アングルはボルトとナットでオートスライド本体に固定します。推奨ボルト径は5Mです。

吊り戸はドア上部にドアを吊るための機構が内臓されております。ここに直接本体をとりつけると、機構に干渉するおそれがあるため、吊り戸に施工する場合下記の写真のようにアングルと木材で本体の高さを調整してください。



### 2. アルミサッシで材質が薄い場合

サッシのアルミ厚が薄く、ビス止めした後に固定部がガタつく場合があります。その場合、アルミサッシの上部を開けて、サッシ内部に裏板をあて、その裏板に固定します。

### 3. 枠中央部が大きくせり出しているドア

アルミサッシのなかにはクレセント鍵のために、中央部の枠が高くなっています。このままだと、本体がぶつかってレールをひけません。10mm、20mmなどのアルミ角材を用意し、枠と同じ高さまでレールを張り出させた上で取り付けます。

### 4. サッシ上部が平らでないドア

サッシ上部は装飾などで平らでない場合があります。凹んでいる面にアルミプレートなどを入れて高さをあわせ、できるかぎりレールがドア面と水平に取り付くようにしてください。ガタつきがあると、うまく駆動しません。

**レールをガラスサッシにビスで取り付ける際は、窓ガラスを割らないように慎重に行ってください。**

## ステップ3：設定

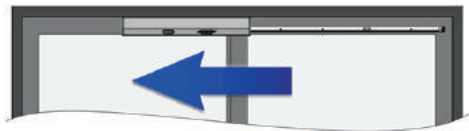
3-1. 電源入力前に本体中央部にあるDIP（ディップ）スイッチをドアにあわせて設定します。



右引きか左引きを決定するDIP1以外は基本的にはすべてオフ(手前側)にしてください。

出荷時のディップスイッチはすべてオフとなっています。

左引き  
ディップスイッチ1…オフ(手前側)



右引き  
ディップスイッチ1…オン(奥へ下げる)



本体は英語表記となっています。以下が日本語でのディップスイッチ表となります。

No	英語/日本語	オフ（手前）	オン（奥）
1	Direction/learn 引く方向・学習	左引き	右引き
2	Slam Shut 最後に強く閉める	モードオフ	最後に強く閉める
3	Pet learn ペットモード学習	モードオフ	ペットモード学習
4	N/O or N/O lock 鍵連動（別売）	モードオフ	鍵連動
5	MAX75%open power 軽い扉対応	モードオフ	75%の出力で駆動
6	N/A 使用せず		
7	Toggle スイッチで開く、再度スイッチ を押さないと自動で閉まらない	モードオフ	トグル開閉実行
8	Beeper 警告音	モードオフ	動作中に警告音

電源を入れる前に必ずドアをしめてください

### 3-2. 電源を投入

**モーターの反対側にある赤いスイッチです。**出荷時は必ずオフとなっております。電源をいれると、ドアが閉まっている状態から最低二度ゆっくりと往復します。一度目で閉まっているドアのはしから戸当たりまでのドアの幅を認識し、二度目でドアを引くときに必要な力を学習します。うまく学習できないときは何度か往復することがございます。停止すれば、登録完了です。

戸の開く幅を任意で決めたい場合

開かせたいはばでとまるように木材などを置き、戸当たり(ストッパー)としてください。

ストッパーまでの開閉はばのみで学習し、記憶します。

扉を固定するときにはできる限り、固いものでしっかりとめてください。

柔らかいものでは、オートスライドが戸当たりと認識しないおそれがございます。

設定が終われば、ストッパーははずしてもかまいません。

また、引き違い戸などは反対側からの人の挟み込みを想定し、

開ききったところで10cm程度あえて空間をつけることをおすすめします。

無事設定終了すると、一番左にある緑色の◎が点灯して待機します。



#### 設定がうまくいかない場合

◆ランプがいつまでも消えず、左→右の順番に点滅している◆

ドア幅の読み込みがうまくいっていないようです。

戸当たりの認識がうまくいかない、戸当たりより先にレール先端で歯車が空転してしまった場合などでこの症状がでます。

解決方法→初期化をおこなってください。

(ディップスイッチ1をオン、オフにする。あるいはオフ→オン)

**木材など固いもので、ドアの戸当たり(ストッパー)を作り、開ききるポイントを機械に教えてあげてください。**

◆設定が終わったが、ドアが半開きでとまる◆

開閉方向を決めるディップスイッチの設定と引く方向が間違っている可能性があります。

あるいは、はじめて電源投入時に、扉を閉めた状態で読み込ませなかった可能性があります。

解決方法→初期化をおこなってください。

(ディップスイッチ1をオン、オフにする。あるいはオフ→オン)。すぐに電源を切り、ディップスイッチで方向を設定し、扉をしめた状態で再度電源を入れなおしてください。

### 3-3. タッチセンサーの登録

付属のタッチセンサー（プッシュボタン）は登録（ペアリング）が必要です。  
本体とのペアリング登録されている場合もありますが、基本的には登録が必須です。



タッチセンサー背面の  
両面テープで固定してください



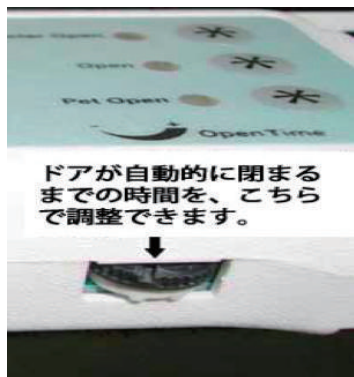
Senser Learnボタンを押し、LEDが赤く点滅したら、タッチセンサーを押します

1. タッチセンサーを準備します。電池絶縁シートを抜いてください。
2. 本体の「Senser Learn」と記載されている\*ボタンを押してください。赤く点灯します。
3. この点灯中にタッチセンサーをおしてください。点滅すれば、タッチセンサーが無事登録されました。残り一台も同様の作業で登録をお願いします。

※ボタンを5秒以上長押しすると、登録設定を初期化するモードになります。ご注意ください。

両面テープが弱くなったら、市販品で代用ください。

### 3-4. 開放時間の設定



扉が開いた後、停止する時間(待機時間)を本体下部、ディップスイッチの右にあるボリューム(Open Time)で調整できます。

右にまわすと、待機時間が長くなります。左にまわすと最低で待機時間ゼロ(開ききると同時に閉まる動作を始める)に設定できます。

ドアが閉まる時の速度について  
オートスライドでは開くときに比べ、閉まってくる時はゆっくりとなっております。  
挟み込みの危険防止のためです。製品上、この速度を変更することはできません。

### タッチセンサーの電池交換および交換後の再登録

付属のタッチセンサーにはコイン電池CR2016が4枚使用されています。

家電量販店や100円ショップで購入可能です。

一日30回開閉で1年程度、店舗などでは半年程度で電池切れとなります。

頻繁な電池交換をさげたい場合は、有線センサーに切り替えをご推奨します。

電池交換後にセンサーの再登録が必要な場合があります。



### 3-4. カバーを取り付ける

1. 埃防止モヘア(ブラシ)が干渉していないか確認してください。



2. カチッと音がするまでカバーを溝へ差し込みます。  
固ければ、マイナスドライバーで溝を少し空けてください。

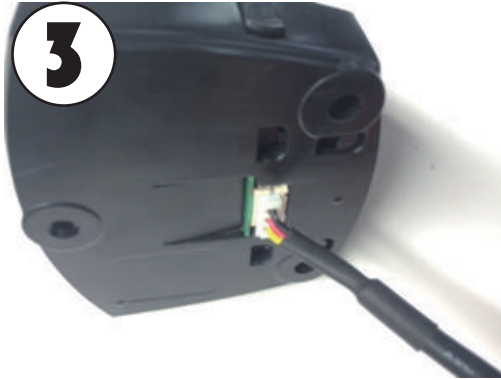


3. ディスプレイ部がカバーの穴にはまります  
4. 側面カバーを固定してください。

以上で基本的な設置、設定は完了です。

## ステップ4：オプション（各種センサー・リモコン）

### 4-1. 有線モーションセンサー



モーションセンサーを調整時、**最初時計回りで最少まで絞**り、それが必要な感知範囲まで、少しずつドライバーを反時計まわりで、まわしてください。

また、センサーの基部を動かすることで、角度調整も可能です

### 4-2. リモコンの設定



オートスライドのSenser learnボタンを5秒長押し、登録モードにしてください。LEDが赤く点灯しているうちに、スイッチのどれかを押し、反応させてください。LEDが点滅すれば、登録完了です。基本的にはタッチセンサーの登録と同じです。

中央下スイッチ・・・各モード選択  
左右スイッチ・・・開閉

戸袋式引き戸へ設置する 戸袋式のドアにレールを設置する場合、以下の点にご注意ください。

ドアの上部を覆っているカバーがあれば取り外し、  
ドアの開閉部分の幅で、印を付けてラックを切ります。

1

1. 戸袋内に十分なスペースがあるかご確認ください。
2. 戸袋内に引き込むため、壁を壊す必要があります。  
施工にはご注意ください。
3. 配線などを戸袋内に通す際は、  
レールに干渉しないようにご注意ください。

ドアの開く側にピッタリと合わせて  
オートスライド本体を固定します。

ドアの面とギアの面が、  
10mm空くようにします。

2

→  
ドアの開く方向

3

ドアの面

ギアの面

10mm

ラックが戸袋の中に入るよう、  
図で示した部分を切り取ります。  
作業のために、ドアを取り外す  
必要があるかもしれません。

## オートスライドを左引きにする

オートスライドは出荷時、右引き専用となっております。

左引きにするにはカバーを外し本体の「ギア」と「コントローラー」の位置を組み替えます。

1

同梱の六角レンチを使って、ご覧のモーターに付いている  
ネジを取り外します。(反時計回りでゆるみます)

2

ギアを取り外します。

3

モーターを止めている4つの  
プラスネジを取り外します。

4

コントローラパネル  
を止めているネジも  
六角レンチで取り外  
します。

ブラシを左へスライドします。



金属の棒も左へスライドします。



窪みに電源ケーブルを置きます。



モーターの下を、電源ケーブルが通っているのを確認してください。



側面カバーを固定します。



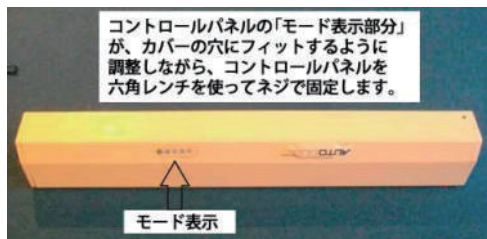
モーター固定穴に合わせて  
プラスネジで固定します。



カバーに付いている「AUTOSLIDE」  
ネームバッジを取り外し、反対側の  
穴に差し込みます。



コントロールパネルの「モード表示部分」  
が、カバーの穴にフィットするように  
調整しながら、コントロールパネルを  
六角レンチを使ってネジで固定します。



# オートスライド施工後のトラブル&シューティング

## Q1. 本体の駆動に関するトラブル

1. 動作が不安定。動いたり、とまったりする。

**レールと歯車とのあいだに隙間が空きすぎている可能性があります。**

隙間は施工時にはなくとも、住居やドア枠のゆがみや、戸車の劣化で数年するとあらわれることもあります。ドアそのものがひどく歪んでいる、戸車が壊れているのでなければ、以下の方法で改善可能です。

① 歯車の下にあるレールをすこしでも上に持ち上げる。

一番よいのは、ビス穴をあけなおすことですが、すでにあるビスの下に、レールをもちあげるためのビスを追加し、ななめ上にむけて打ってみてください。とくに引くときに大きな力がかかりますので、閉まった状態で、歯車の下にあるレールを上にもちあげることができれば、歯車がしっかりかみ合い、動作は安定します。

② 上枠と本体とのあいだに厚紙やスペーサーをかませる。

本体と上枠とのあいだに0.51mm程度の厚紙やスペーサーを数枚かませただけで、隙間なくかみあうこともございます。

空転を放置しておく、いずれ歯車とレールの摩耗、故障につながりますので、気が付いた段階ではやめに上記の処置をするとういでしょう。

2. ドアがまったく動かない。

1と逆で、ギアと本体が強いかみ合わせすぎていないでしょうか？

手で引けないほどか、取り付ける前にくらべて著しく重い場合は、かみ合わせが強すぎて、ドアがロックされたような状態となっております。ラック（レール）（レール）の取り付け位置をさげるかアングルでとりつけている場合は長穴の位置を調整ください。

3. 吊り戸に設置したが、戻ったり、いったりきたりをする

上吊りの大型の引き戸などで見られます。ドアに遊びがあり、前後に揺れる場合、その揺れや振動を、オートスライドが何か異常があると感知してこのような動きになってしまいます。対策方法としては、ドアの戸車を点検するか、戸の下にレールを設置し、下戸車を追加する方法がございましたが、もともと上吊り戸で遊びの大きい物はオートスライドの方式(ラック(レール) & ピニオン式)では動作が不安定なる傾向がございます。トラブル防止のため、施工前に、工事をすべきかの判断をしっかりとすることが大切です。

4. 無理やりドアをあけてから動作がおかしい

オートスライド駆動中に無理やり力でドアを開ける、開閉に逆らう、蹴って開けるなどをすると、モーターのギアが想定を超える負荷に耐えきれず、壊れることがあります。決して行わないでください。また、こうした故障の場合、交換保証対象外となります。

5. 電源が入らない。

電源はコントローラーの左側面にある赤いスイッチです。ここがオンになっているにもかかわらず、電源が入らない場合は、電源ケーブルが外れているか、施工時に電源ケーブルを傷つけたことによる断線の可能性があります。断線修理は無償交換となります。電源ケーブルの接続をご確認のうえ、オートスライド・ジャパンへご連絡ください。

## Q2. センサー類に関してのトラブル

### 1. タッチセンサーがきかない

タッチセンサーは電池式です。CR2016型コイン電池を定期的に交換してください。交換目安は一般家庭で1年程度、商業施設などで3か月に一度です。ブルーのLEDがついていても、電池切れの場合がございます。また、タッチセンサーには3mmほどの小さなバネが入っております。電池交換時にバネをとばさないようにご注意ください。

### 2. 電池を交換したのにタッチセンサーがきかない。

電池交換時にまれに本体とのセンサー登録が無効化されてしまう場合がございます。オートスライド本体のSensor Larnボタンを押し、ボタンそのものが赤く光ったら、タッチセンサーを押し、登録しなおしてください。登録完了しますと、Sensor Leanボタンが点滅します。

### 3. あたらしいタッチセンサー、リモコンを登録したい。

本体のSensor Larnボタンを押し、各センサーを登録してください。

### 4. 今まで動いていたスイッチが突然動かなくなった。

Sensor Larnボタンを5秒以上長押しすると、一括消去となります。登録の際、ボタンを長くおしぎると、こちらのモードになってしまうのでご注意ください。

### 5. センサーを使っていると、突然、開く、閉まる。

有線センサーは赤外線式です。まれに外光やダウンライトからの赤外線に反応して誤作動をおこす場合がございます。取り付け位置を工夫して調整位するか、赤外線式ではない超音波センサーをご使用ください。超音波センサーはオートスライドにて販売中です。

有線センサーを使用していないのに突然開く、閉まる場合はタッチセンサーの故障やタッチセンサーのリモコン部の混戦が考えられます。一度登録をしなおしてみてください。

### 6. 中央の赤いランプが点灯したままで、ドアが開きっぱなしになる。

有線センサーの調整が必要です。赤外線ビーム出力が強すぎます。センサーの黒いカバーを開けて、右側にあるボリュームをマイナスドライバーで時計周りに回し、最低に絞ってから、今度は逆歩行（反時計方向）に少しずつつまわして、出力調整してください。

その他・ご不明点・購入後一年未満の不具合、一年後の故障修理については下記までご連絡ください。

オート・スライド・ジャパン

(オートスライド総代理店 株式会社ファースト・レイズ)

群馬県桐生市川内町3丁目119-3

TEL0277-51-4973 FAX0272-02-0232

お問い合わせ

info@autoslide.jp

# オートスライド 製品保証書

この度は、弊社製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

当保証規定は、お買上げ製品に万一異常が生じた場合、弊社代理店へサポートをお受けいただく際に必要な、保証の内容が規定されております。

必ず最後までご一読の上、大切に保管して頂きますよう、お願い致します。

安全に十分配慮し、正常な使用状態(マニュアル、本体記載事項に従った使用)で故障した場合弊社代理店までご連絡ください。無償で修理をさせていただきます。

保証期間は商品がお手元に届いてから1年間となります。

購入日時は弊社にて把握出来るよう、お客様のお名前とシリアルナンバーにて管理しています。

※保証規定の対象は日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

◎ただし、保証期間内でも次の場合は有償修理となります

- ① 本保証書のご提示がない場合
- ② 本保証書の所定事項の未記入、もしくは字句を書き換えられた場合
- ③ お買上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等、当社規定外の取り扱いによる故障及び損傷
- ④ 使用上の誤り、あるいは当社保証外の不当な改造、修理による故障及び損傷
- ⑤ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障及び損傷
- ⑥ 本製品に接続している当社規定外の機器、および消耗品に起因する故障及び損傷
- ⑦ 製品内の消耗品が自然消耗、磨耗、劣化した場合
- ⑧ 製品が車両・船舶等の振動や、水平垂直レベルの確保が困難な場所に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- ⑨ 取付許容範囲外のドア仕様及び運用環境に対して施工した場合に生じる故障及び損傷
- ⑩ 本保証書を紛失した場合

本書は、本書記載内容で無償修理を行なうことをお約束するものです。

保証期間内に故障が発生した場合、本書をご提示の上、弊社代理店にご相談下さい。

お問い合わせ先：株式会社ファースト・レイズ

群馬県桐生市川内町3-119-3

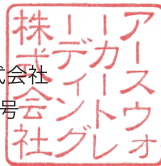
電話：0277-02-0232

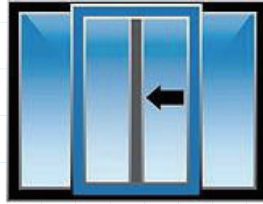
オートスライド輸入販売元

アースウォーカーレーディング株式会社

福岡市博多区博多駅前一丁目15番20号

NOF博多駅前ビル2階





**AUTOSLIDE®**  
**オートスライド**